This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images,

please do not report the images to the

Image Problem Mailbox.

Vare

Vol. 9 Number 11 (M-351)

2

) NONSKID NET FOR TIRE OF AUTOMOBILE

) 59-160607 (A)

(43) 11.9.1984 (19) JP

) Appl. No. 58-31827

(22) 1.3.1983

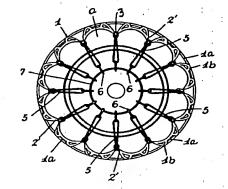
) MOTOYOSHI TSUJITA (72) MICHIO HAYASHI

), Int. Cl3. B60C27/16

RPOSE: To contrive lowering of a noise, magnification of a nonskid effect and prevention of injury of a road surface, by forming a monskid net of more soft rubber than a tire and the size of the mesh of the net is set up at the size so

that a part of a mounted tire is grounded.

NSTITUTION: A netlike belt 1 whose thickness is about 3~5mm is formed of more soft rubber than a tire (a) and the size of the mesh 1a of the net 1 is set up the size so that part of the tire (a) is grounded through the mesh 1a when the net 1 is mounted on the tire (a). With this constitution, when a connecting protrusion part 2' is mounted on the tire (a) by connecting the part 2' with a metal wheel 7 through an elastic string 5 and a hook 6, a space in the mesh is almost gone as a netlike part at the before and behind and the right and left of the grounded part of the tire (a) are crushed simultaneously with turning of the tire (a), which is restored along with rotation of the tire. Adsorption is generated at the grounded part through continuous repeatition of the above and a nonskid effect is improved. As there is no protrusion on the net, a noise and injury of a road surface can be prevented.



*₹ 1*5 .

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59—160607

⑤Int. Cl.³
B 60 C 27/16

識別記号

庁内整理番号 7443-3D 砂公開 昭和59年(1984)9月11日

発明の数 1 審査請求 有

(全 3 頁)

3自動車用タイヤ滑り止めネツト

願 昭58-31827

②出 願 昭58(1983)3月1日

亞発 明 者 林道雄

21特

東京都北区赤羽台1-6-50-

718

引出 願 人 辻田源美

松戸市新松戸6丁目69番地サイライトパストラル弐番街A710

理 人 弁理士 村井常男

班 证

人 96 男の名称。自動車用タイヤ併り止めネット 2.毎評請求の根因

個目をなし、タイヤ外間に装削されるゴム製の借り止めネットにおいて、前配所り止めネットを 目動車のタイヤより飲みのゴムで形成し、かつ装 対時にタイナの一部が浸泡する状態の個目間間に 形成したことを特似とする自動車用タイヤ借り止 のネット。

3. 発明の証明な説明

4発別は自動車用タイで滑り止めネントに関するものである。

自心取で質量を進行する場合タイヤの外間に金 所製チェン或はゴム製ネットを装物して借りを妨 此している。しかし前配従来の金属製チェンは借 り止め効果は優れているが騒音と路面綿蜒を損傷 するなどの欠点があり、又ゴム製ネットは別配チェンに比べ低級音で路面綿銭を係める出れがない などの利点はあるが一番肝心なけり止め効果が劣 り安全性に欠けるのの問題点があった。

本発明は前配従来の欠点を解消したもので、性 騒動で路面調整を損傷する故れがなく、しかも借 り止め効果が優れた目動車用タイで借り止っるシ トを提供することを目的としている。

上記の目的を達成するため本発別は次のように 解放したものである。

即ち本発明は個目をなし、タイド外間に設定されるコム製の所り止めネントにおいて、 耐配がり止めネントを自動車のタイヤより 飲食のゴムで形成し、かつ実程時にタイヤの一部が接地する状態の附目間隔に形成したことを特徴とする自動車用タイナがり止めネントである。

以下本発明の実施的を図開について説明する。 図において山は借り止めネントで、タイヤ(a)より 飲食のゴム材により厚さが3mm乃至5mm程度の何 状帯で振端状に形成されタイヤ(a)の外間に嵌合す

456周59-160607(2)

るようになっている。そして借り止めネット川の側目(1a)はタイヤ(0)の一部が接地する胸目間間に形成し、又装が時にタイヤ(0)の内側及び外側に位置する骨り止めネット川の両間線に所定の間隔を行して山形に突出する多数の係止突部凹には金属場凹を介してワイヤーローブ(4)が収付けられ、タイヤ(0)の外側にくる各係企とという。とのアンク(6)が取付けられている。このアンク(6)が取付けられている。このアンク(6)が取付けられている。このアンク(6)が取付けられている。このアンク(6)が取付けられている。このアンク(6)が取付けられている。このアンク(6)は借り止めネット川を発っては瞬間に対止めして対り止のネット川を発っては傾向に対止めして対り止のネット川を発っても物をのである。前四中(1b)は網目(1a)を存成する網系の、(6)は節面を示す。

本発明は以上のように借り止めネットをタイナより改選のゴムで形成し、かつ設滑時にタイナの 一脚が接地する状態の期目間額に形成してあるの

図面は本発明に係る月刻車用タイで借り止めネットの天施例を示したもので、第/図はタイマに接着した状態を示す側面図、第2図は一部の展別平面図、第3図は第2図A-A般における町面図、第4図及びお5図はタイで及び借り止めネットの接地状態を示す説明図である。

川~滑り止めネット、(1a)~網目、(a)~タイヤ。

